



小倉大臣がおでかけひろばを視察

9月1日、おでかけひろばぶりっじ@rokalに内閣官房子ども家庭庁準備室小倉少子化担当大臣が来訪、利用者さんの生の声や、子ども子育て家庭に関わるNPOの活動の状況などを聞いてくださいました。大臣は、普段のひろばのように床に赤ちゃんたちと一緒に座って、ざっくばらんに！と言ってくださり、みなさん思い思いに語ってくださいました。子どもが真ん中の社会は、地域の私たちもつくっていくものだなあと思うし、それは先に生きている者、みんなの役割ですよ！！

国や区に提案しつつも、私たちもできることは自分たちの手でつくりあげていきたいと思いました。一緒に子育てする仲間だよ！って言い合える繋がりをつくりたいです。



親の『懲戒権』削除へ

明治の民法(1898年!)を踏襲していた「親権を行う者は、第820条の規定による監護及び教育に必要な範囲内でその子を懲戒することができる」と書かれた822条がようやく削除されるとのニュースが飛び込んできました。児童福祉法に「体罰禁止」が明文化され、「体罰によらない子育て」を提出したときにも課題として残っていました。法務省の方も厚労省の議論にオブザーバー参加されて、おでかけひろばぶりっじ@rokalにも意見聴取にもいらして下さった折には、ぜひ削除を！とお願いしていました。それから2年の月日を要したということです。「こうだったらいいのにな」は、子どもや子育て家庭の近くにいる私たちが根気強く伝えていかななくては！！子どもが真ん中の社会へ。

<7~9月:せたがや子育てネットの動き>

- ふれあい赤ちゃん授業 (7月:烏山中、尾山台中)
- 世田谷区「地域インターンシップ世田谷」で学生インターン4人受け入れ(7-8月)
- 居場所サミット出展@駒沢大学(7/2)
- 世田谷区各政党との懇談会(7月下旬)
- ふるさと区民祭出展 (8/6-8/7@若林公園)
- 北沢タウンホール夏祭り出展(8/11)
- とうきょうプレイデー参加 (9/23-10/2)
- 第二回区民版子ども・子育て会議開催「子育ての「今」をニーズ結果調査からどう読み解く？」 (9/6 @三茶しゃれなあと)
- 子育てタクシードライバー研修@日の丸タクシー(9月)
- 保育サポーター養成講座 (9月~12月)
- 「保育園最初の一步」動画公開 (9/27)
- NHK取材(8/23 あさいチで放映)
- 代表松田、雑誌LEE取材受ける(10月掲載)



せたこそその愉快的仲間たち

代表理事 松田妙子

今回はスタッフ自慢をしたいと思っています。せたがや子育てネットにご縁あってジョインしてくれたスタッフは、それぞれめっちゃ素敵で、かつ面白いんです。多様すぎてひとくくりには語れないのですが、みんないろんな面を持っていて、もっといろいろ知りたいなと思わせてくれる魅力があります。びっくりな特技もあれば、こだわりの趣味もあり……。ぜひみなさんもせたこそそのスタッフに会ったら新たな一面を見せてもらってください！

そしてそれぞれのチームワークも抜群です。いろんな事情もあるけれど、チームで支え合いフォローしあっていて、誰かのピンチもなんとかカバーしてくれる優しい仲間達です。これからも世田谷の子どもたちとその家庭を見守っていきます！！
コロナ禍で法人内の交流もままならない中、ひろい世田谷で現場同士も遠い中、どうやってお互いを知っていったらいいかなあーと思案中です。良きアイデアがあったら教えてください！あっ！ボーリング大会とかやりたい！（ベタかな）

学生インターンを受け入れました！

せたがや子育てネットでは、“地域インターンシップ世田谷2022”を通じて、8月と9月の間に4名の学生インターンを受け入れました。

産前産後のセルフケア講座やおでかけひろば、フードパントリーの活動のほか、『せたがやふるさと区民祭り』や『北沢タウンホール夏まつり』などの地域イベントにも参加し、地域の皆さまや子どもたちと交流しながら、地域の子育て支援について学びました。実際にインターンに参加した学生たちの声をまとめました。

私は、地域の子育て家庭に向けたお弁当配食の活動に参加しました。お弁当を手渡しで渡す際に、相手の体調や近況を聞いたり、世間話をするなかで、そこからその家庭の状況を観察しており、それが地域支援の糸口になっているのだと感じました。

私は2ヶ月間、インターンでお世話になりました。活動に参加するたびに、スタッフの方々や関わる方々から、「ひとりで背追い込む必要はないよ、あなたのことを大切に思っているよ」という思いを感じとりました。今後は、わたしもその思いの伝え手になるべく、今回の学びを活かし、ますます頑張ろうと思います。



区民まつりでは、保坂区長と記念撮影



下北タウンホール夏祭りでは、インタビュー取材の対応も

産前産後のセルフケア講座に参加しました。当日はお母さん方の交流の時間もあり、居場所づくりのための講座でもあるのだと感じました。また、おでかけひろばでは、フードパントリーのお手伝いをしました。そこには、さまざまな年代の子どもや家族が受け取りに来ますが、スタッフの方々が「最近どう？」などと声をかけている姿が印象的でした。

私は保健師を目指しており、地域で暮らす親子への支援活動を知りたいと思い、インターンに参加しました。おでかけひろばや産前産後のセルフケア講座への参加をきっかけに、お母さん同士が繋がっていく様子や、子育てに関する様々なイベントの存在などを知り、地域活動の重要性に改めて気づくことができました。特に、支援を通して様々な人が連携していることや、その関わり方なども教えていただき、教科書だけでは学べないことをたくさん知ることができました。今回の学びを活かし、引き続き保健師が行うべき地域の支援やその関わり方について考えていきたいです。

受け入れたおでかけひろばから

おでかけひろばぶりっじ@roka

この夏、ぶりっじ@rokaには大学生から中学生まで、合計10名の学生ボランティアが来てくれました。緊張しながら初めてひろばに来てくれたボランティアさんも、1日が終わってみると、「子どもによって遊び方や興味がまったく違うので驚きました」「子育てのリアルな話を聞けるので、視野が広がりました」「保護者の方とも交流ができ、貴重な体験になりました」など、さまざまな気づきや思いを話してくれました。ひろばでの体験から何かを吸収しようという意欲あふれる声を聞いていると、ひろばスタッフにも新たな発見が生まれ、背筋がピンと伸びるよう気持ちになりました。

おでかけひろばまーぶる

まーぶるには地域の頼もしいボランティアさんがお2人来てれています。ピアノが上手だったり、お片付けが上手だったり、ひろばの親子の見守りだけでなく、それぞれのお得意なことで縁の下の力持ちのように支えてくださっています。また、月2回開催している小学生対象のまーぶる文庫★宿題タイムでは地域のボランティアさんと大学生ボランティアさんが大活躍中！回を重ねるたびに関係が深まり、愛称で呼ばれ、こどもたちの遊びやお喋りに全力で関わってくれています。色々な世代のボランティアさんとのご縁があって、こどもたちが成長する居場所づくり、見守りができています。



おでかけひろばすぷーん

子どもの発達に興味がある大学生と、子どもたちと交流してみたい高校生が、すぷーんのボランティアに来てくれました。高校生はおすすめのお店を紹介するご近所マップを作成し、大学生はひろばのプログラム「グットイで遊ぼう！」や「のんびり散歩とクリーンアップ」のプログラムに積極的に参加してくれました。ボランティアさん手作りの壁面装飾は、赤ちゃんたちもお気に入りのようでした。最初は緊張していたボランティアさんたちでしたが、『街の様子がわかって、利用者さんと交流もできて楽しかった！』と笑顔で帰られました。いつものひろばと雰囲気も変わり、とっても楽しい時間でした。(上写真:活動の様子)

おでかけひろばおりーぶ

おりーぶには、社会学を専攻する学生さんが2名、ボランティアとして来てくれました。スタッフに対しても、ひろばに来ているママたちにも自ら質問していて、おでかけひろばについて一生懸命学ぼうという姿勢を感じました。ひろばにいつも来ている赤ちゃんや子どもたちは、若いお姉さんたちの登場に興味津々。最初は恥ずかしがっていた子も、徐々にお姉さんたちに慣れ、おもちゃを手渡したり、近くに寄ってみたりと、積極的にコミュニケーションをとっていました。

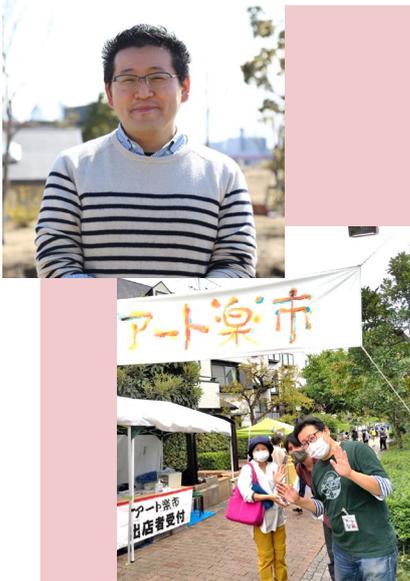


～理事のご紹介～

千葉晋也さん

(一財)世田谷コミュニティ財団理事
／石塚計画デザイン事務所共同代表)

学生時代から世田谷の住民主体のまちづくりに憧れて、上京後1998年から念願の世田谷のまちづくりに関わることに。当時できたばかりの三軒茶屋のキャロットタワーで、市民活動団体が集まってイベントを企画・開催した「ぶりっじ世田谷」に関わり、たくさんの市民活動団体と出会いました。そこで松田理事長、小林理事とも出会い「ママパパぶりっじ」という子育て団体データベースをつくったのがご縁のはじまりです。2018年に立ち上がった世田谷コミュニティ財団では、「まちを支える生態系をつくる」をミッションに、様々な立場に関わる人たちが一緒に刺激を受け、新しい価値を生み出せるような社会を目指して活動しています。



市川徹さん (株式会社 世田谷社代表取締役)

学生の頃から世田谷のまちづくりに関わり、卒業後も継続して関わるため世田谷社を設立、世田谷を中心にさまざまな市民活動の支援を行っています。1999年頃に市民活動を分野横断で横つなぎするプロジェクト「ぶりっじ世田谷」に関わり、このときに松田さんや小林さん、千葉さんと出会って一緒に「ママパパぶりっじ」を立ち上げたのが理事になるきっかけです。今は、世田谷社の事務所が同じ建物にあることから、人手が足りない活動をお手伝いしたり、IT関係を担当したりしています。ほかにも、(一財)世田谷コミュニティ財団、NPO法人SAHS、NPO法人つどい、羽根木プレーパークなど、地域の市民活動団体の役員も務めています。

『せたがや子育てライフ』から、世田谷の子育て情報発信中!!!

世田谷区で子育てするすべての方に向けて、地域子育て情報を『せたがや子育てライフ』のInstagramで発信しています。地域の方からの情報掲載も承っています。おでかけ先、週末の地域イベント、保護者向けの講座情報などなど、ぜひお役立てください♡



せたがや子育てネットの会員になって、世田谷での子育てを一緒に考えませんか？

子どもの名前をたくさん知っている大人や、ちょっとしたことでも地域に関心や役割を持つ人が増えると、子どもを通じて街が豊かになります。会員として、地域の子育てを一緒に考えてみませんか？

正会員 : 入会金なし、年会費 3,000円(個人)10,000円(法人)
賛助会員 : 入会金なし、年会費 3,000円(個人) 10,000円(法人)



【編集後記】無事に秋号を発行することができ、ほっとしております。せたがや子育てネットの約50名のスタッフは、個性豊かで素敵な仲間たちばかり。活動を継続していくことは第一目標ですが、スタッフみんなが気持ちよく働ける環境づくりは、こころずっと頑張って取り組んでいることです。みなさんにお知恵をいただきながら、一步一步進めています。(I)